

第295号 2011年12月1日  
弘前大学総務部総務課

**学術講演会・研究発表会・公開講座**

文部科学省科学技術戦略推進費 地域再生人材創出拠点の形成  
「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」  
「平成23年度第6回 被ばく医療プロフェッショナルセミナー」開催のお知らせ

弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」では、国内外専門機関の放射線科学専門家を通して被ばく医療に関する国内外の動向を学ぶことを目的に、「平成23年度第6回被ばく医療プロフェッショナルセミナー」を開催します。

今回は、被ばく医療の専門家を講師にお招きし、放射線災害の被災者に対応する医療従事者の放射線防護という観点から、被ばく者対応における二次被ばくや二次汚染の防止、施設の汚染拡大防止などに関する基本知識や具体的な方法をご紹介します。

1. 日 時：2011年12月 7日（水）  
18:00～19:00
2. 会 場：弘前大学保健学研究科2階 大会議室
3. 講 師：公益財団法人原子力安全研究協会  
放射線災害医療研究所 副所長 山本 尚幸 氏
4. 演 題：「放射線の基礎知識  
～安心して緊急被ばく医療に携わるために～」
5. 参加料：無 料
6. その他：事前申込不要。  
参加を希望される方は当日直接会場にお越しください。



**問い合わせ先：** 弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」事務局  
被ばく医療総合研究所事務室  
電 話・FAX：0172-39-5401  
E-mail：[jm5401@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm5401@cc.hirosaki-u.ac.jp)  
URL：<http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/~hibaku-pro/>

**平成23年度 弘前大学国語国文学会大会のお知らせ**

1. 日 時：2011年12月11日（日） 13:00 開始
2. 会 場：弘前大学人文学部 4階 多目的ホール
3. 参加費：無 料

#### 4. 内 容：

○開会の辞

○研究発表

- ・笠井 敦司 先生（青森県立青森東高校）  
〔題目〕言語活動を取り入れた「読むこと」の指導  
—読解から教養へ—

○講 演

- ・仁平 政人 先生（弘前大学教育学部）  
〔題目〕川端康成と20世紀モダニズム（14：10～予定）

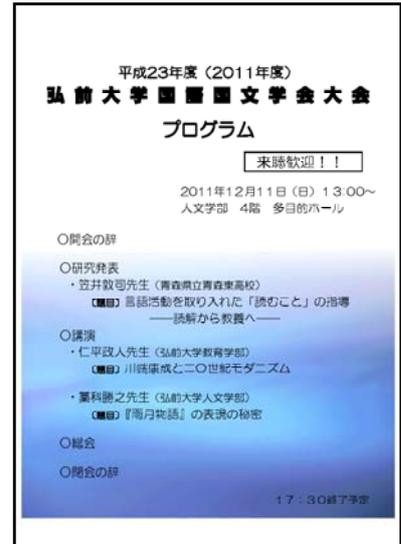
○講 演

- ・藁科 勝之 先生（弘前大学人文学部）  
〔題目〕『雨月物語』の表現の秘密（15：40～予定）

○総 会（17：00～予定）

○閉会の辞（17：30 終了予定）

**問い合わせ先：** 弘前大学国語国文学会事務局 弘前大学人文学部  
電 話・FAX：0172-39-3231（直）  
E-mail：[mwata@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:mwata@cc.hirosaki-u.ac.jp)



第6回震災研究連絡会～弘前大学のネットワークで震災研究を広げよう～開催について  
(大学院地域社会研究科)

弘前大学大学院地域社会研究科では、「震災研究連絡会」を下記により開催いたします。  
震災対応や震災研究に興味のある方はどなたでも参加・聴講できますので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。  
当日は2つの報告の前に、震災に関する情報・意見交換を行います。情報をお持ちの方はこの機会にご紹介ください。

1. 日 時：2011年12月13日（火） 18：00～

2. 場 所：弘前大学創立60周年記念会館 コラボ弘大1F コミュニティ・スペース

3. 内 容：

司 会 檜 楨 頁（弘前大学大学院地域社会研究科）

18：00～18：45

工藤 誠治（弘前市医師会救急災害対策委員長・EST2クリニック院長）  
「震災時の医療救護活動における弘前市医師会の参加」

18：45～19：30

遠藤 明（弘前大学農学生命科学部）  
「農地土壌の塩類汚染浄化に向けた取組み」

19：30～20：00 意見・情報交換

問い合わせ先： 檜 楨 貢（地域社会研究科）  
電 話： 0 1 7 2 - 3 9 - 3 9 3 8（内線 3 9 3 8）  
E-mail：[himaki@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:himaki@cc.hirosaki-u.ac.jp)

平成 2 3 年度弘前大学 F D シンポジウム開催のお知らせ

1. 日 時： 2 0 1 1 年 1 2 月 2 2 日（木） 1 4：3 0～1 6：4 5
2. 会 場： 弘前大学創立 5 0 周年記念会館 2 階「岩木ホール」
3. 主 催： 教育・学生委員会
4. 開催趣旨：

学士課程及び大学院課程では、教育改善のための組織的な取組（FD）が義務化されました。そこで本学では、文部科学省の特別経費による「ティーチング・ポートフォリオを活用したFD活動の展開」事業の一環として、公開シンポジウムを開催し、積極的な教育改善につなげることを企画いたしました。このシンポジウムでは、①本学における本格的なティーチング・ポートフォリオ作成の試み、及び②本格的なラーニング・ポートフォリオの萌芽となる取組を、それぞれ発表する予定です。

5. 内 容：

1 4：0 0～1 4：3 0 受 付

1 4：3 0～1 4：3 5 開会挨拶（遠藤学長）

第一部（司会：鬼島 教授）

1 4：3 5～1 4：4 5 本格的なポートフォリオの導入（神田副学長）

1 4：4 5～1 5：1 5 本格的なポートフォリオの作成（長南教授・小山内准教授）

1 5：1 5～1 5：3 0 オランダの事例（田中准教授）

1 5：3 0～1 5：4 5 総合討論（第一部）

1 5：4 5～1 6：0 0 休 憩

第二部（司会：鬼島教授）

1 6：0 0～1 6：1 5 教育学部のラーニング・ポートフォリオ（佐藤教授）

1 6：1 5～1 6：3 0 医学部のラーニング・ポートフォリオ（鬼島教授）

1 6：3 0～1 6：4 5 総合討論（第二部）

6. 対 象 者： 本学教職員・学生のほか、学外者の参加も認める。

## 7. 参加申込：

参加を希望される方は、氏名・所属・連絡先電話番号・メールアドレスを記載し、下記担当事務へ平成23年12月12日（月）までに、eメール等で申し込みください。

事前に申し込みいただかずに当日直接会場に来ていただいても構いませんが、資料の準備の関係のため、できるだけ事前に申し込みくださるようお願いします。

なお、参加費は無料です。

**問い合わせ先：** 弘前大学学務部教務課 教務企画担当  
電 話：0172-39-3108（直通）  
内 線：3108  
F A X：0172-34-6974  
E-mail：[jm3108@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3108@cc.hirosaki-u.ac.jp)

平成23年度 弘前大学大学院保健学研究科 博士前期課程・後期課程 大学院進学ガイダンスのお知らせ
---

弘前大学保健学研究科では、平成24年1月21日（土）に博士前期課程及び博士後期課程の選抜試験を実施しますが、これに先立ち、大学院進学に関心をお持ちの方々を対象に、下記の日程で大学院進学ガイダンスを企画しましたので、ご案内いたします。

1. 日 時：2011年12月15日（木） 19：00～（30分程を予定）

2. 会 場：【弘前会場】弘前大学保健学研究科2階 大学院講義室  
【八戸会場】弘前大学八戸サテライト（八戸商工会館1階）

※双方向遠隔授業システムを使用した、両会場での同時開催となります。

## 3. 内 容

- (1) 大学院概要説明
- (2) 募集要項説明
- (3) 質疑応答及び個別相談

## 4. 申 込：

参加ご希望の方は、お名前、連絡先（電話番号）、進学をお考えの課程（博士前期課程・博士後期課程）、参加希望会場をご記入のうえ、F A XまたはE-mailにて、12月7日（水）までに下記問い合わせ先にお申し込みください。

**問い合わせ先：** 弘前大学保健学研究科学務グループ  
電 話：0172-39-5913  
F A X：0172-39-5912  
E-mail：[jm5911@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm5911@cc.hirosaki-u.ac.jp)

## 知財塾開催のお知らせ

このたび、知的財産本部では、本学の客員教授である弁理士を講師としてお迎えし、下記のとおり知財塾を開催いたします。

多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2011年12月20日（火） 14：00～17：10
2. 会 場：弘前大学創立60周年記念会館 コラボ弘大2F セミナー室
3. 次 第：

14：00～14：05 挨拶

～基礎編～

14：05～15：05 富沢特許事務所 弁理士 富沢 知成 氏  
「大学における知的財産とは」

15：05～15：10 休憩

～外国編～

15：10～16：10 タニダ国際特許事務所 弁理士 谷田 拓男 氏  
「外国出願について」

16：10～17：10 辻田特許事務所 弁理士 辻田 幸史 氏  
「最近の特許事情について」

4. 主 催：弘前大学、知的財産本部、地域共同研究センター
5. 共 催：学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム、ひろさき産学官連携フォーラム
6. 対 象：教職員、学生、一般の方
7. 参加費：無 料

※参加を希望される方は、氏名、所属・役職、連絡先を記載し、12月16日（金）までに、下記連絡先までお申し込みください。

**問い合わせ先：** 弘前大学知的財産本部  
電 話：0172-39-3178  
FAX：0172-36-2105  
E-mail：[chizai@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:chizai@cc.hirosaki-u.ac.jp)

## 平成23年度生物共生教育研究センター公開講座「リンゴを科学する」開催のお知らせ（再掲）

本年で13回目を迎える生物共生センター公開講座「リンゴを科学する」。昨年に続いて、弘前市岩木地区で開催します。2日間のプログラムの中に、リンゴに関する様々な話題を満載して、以下の要領で開催します。りんご生産者をはじめ、どなたでも参加できます。参加費も無料になりました。多数のご参加をお待ちしています。

本講座は、青森県民カレッジの認定講座です。

1. 日 時：2011年12月 4日・5日
2. 場 所：弘前市中央公民館岩木館 大ホール  
(弘前市賀田1-18-3)
3. 主 催：弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター
4. 参加費：無 料
5. お申し込み先：下記問い合わせ先へ、お申し込み下さい。
6. プログラム：

第1講演 12月 4日(日) 10:00~11:30

演 題：リンゴペクチンのちから  
講 師：弘前大学農学生命科学部 教授 宮入 一夫

第2講演 12月 4日(日) 13:00~14:30

演 題：リンゴの栽培から生じる廃棄物の有効利用“剪定枝とリンゴの種子・葉から”  
講 師：弘前大学農学生命科学部 教授 片方 陽太郎

第3講演 12月 4日(日) 14:40~16:10

演 題：グローバル下のリンゴ生産の課題と展望—経済計算と農協共販1世紀の歴史に学ぶ—  
講 師：岩手大学大学院連合農学研究科 研究員 大橋 治

第4講演 12月 5日(月) 10:00~11:30

演 題：意外と知られていない剪定の話  
一切り返し剪定の反応、夏期の新梢管理、移植樹の剪定—  
講 師：弘前大学名誉教授 塩崎 雄之輔

第5講演 12月 5日(月) 13:00~14:30

演 題：日本でリンゴの有機栽培は可能か？—8年間の挑戦でわかったことと考えたこと—  
講 師：弘前大学農学生命科学部 准教授 伊藤 大雄

第6講演 12月 5日(月) 14:40~16:10

演 題：ウイルス病害を中心としたリンゴ病害の診断・防除  
講 師：弘前大学農学生命科学部 教授 佐野 輝男

**問い合わせ先：** 弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター藤崎農場  
電 話：0172-75-3026  
FAX：0172-75-5646

男女共同参画推進室「つがるネッサンス！地域でつなぐ女性人才」 第4回セミナー（再掲）  
「光」の研究・教育に魅せられて～未知へ挑み創成する楽しさと人材育成～開催のお知らせ

弘前大学男女共同参画推進室では、女性研究者研究活動支援事業（女性研究者支援モデル育成）として、第4回セミナーを開催します。

物理学者として多くの業績を残され、また、たくさんの研究者を育ててこられた（独）科学技術振興機構男女共同参画主監・日本女子大学名誉教授・工学博士の小館香椎子氏をお迎えし、研究と結婚・出産・子育てを両立させてきたご自身のエピソードも交えながら、「研究のおもしろさ」「教育の醍醐味」をお話しいたします。

気軽に質問をしたり、発言や意見交換ができるトークタイムもあります。

文系・理系、男女を問わず、学生・教職員の皆さん、一度じっくり「研究」「教育」について考え、語り合ってみませんか？



1. 日 時：2011年12月 7日（水） 13：30～15：00
2. 会 場：弘前大学創立60周年記念会館「コラボ弘大」8階「八甲田ホール」
3. 講 師：（独）科学技術振興機構男女共同参画主監、日本女子大学名誉教授、  
工学博士 小館 香椎子 氏
4. タイトル：「光」の研究・教育に魅せられて～未知へ挑み創成する楽しさと人材育成～
5. 参加費：無 料
6. 講師プロフィール：

日本女子大学家政学部家政理学科I部（物理専攻）卒業。東京大学工学部電子工学科助手を経て日本女子大学理学部数物科学科教授。現在、日本女子大学名誉教授。

専門分野は光エレクトロニクス。第20期・21期日本学術会議会員、同・科学者委員会男女共同参画委員会委員長。電波監理審議会委員（総務省）、総合科学技術会議専門委員、応用物理学会副会長・フェロー、SPIE（国際光工学会）フェロー、など政府委員・学会役員など多数を歴任。内閣総理大臣表彰（男女共同参画社会への貢献）、文部科学大臣表彰科学技術賞、総務大臣表彰など受賞多数。

※ご来場の際は、公共の交通機関をご利用下さい。

**問い合わせ先：** 弘前大学男女共同参画推進室

電 話：0172-39-3888

FAX：0172-39-3889

E-mail：[equality@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:equality@cc.hirosaki-u.ac.jp)

URL：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>

「つがるネッサンス！地域でつなぐ女性人才」ウェブサイト

URL：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/tsuga-ru/>

平成23年度 弘前大学研究成果公開シンポジウム開催のお知らせ（再掲）

弘前大学では、東日本大震災の復興に向けた原子力災害に対するこれまでの活動と今後の新エネルギー・環境研究への取組について、本学の研究活動に御理解を深めていただき、さらなる発展・充実を図るため、研究内容・成果を分かりやすく発信するシンポジウムを東京と弘前において開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

【第2回 [弘前会場]】

1. 日 時：2011年12月 9日（金） 13：15～16：30
2. 会 場：ベストウェスタンホテルニューシティ弘前 3階 エメラルド  
（青森県弘前市大町1-1-2）
3. 対 象：一般、研究者、企業関係者等
4. 参加費：無 料
5. 定 員：150名程度
6. プログラム

13：15～13：30 開会挨拶 遠藤 正彦（弘前大学長）

<第1部>原子力災害に対するこれまでの取組と今後の展開

13：30～13：55 「被ばく医療人材育成の取組」  
大学院保健学研究科長 對馬 均

13：55～14：20 「被ばく医療に関する取組」  
医学部附属病院高度救命救急センター長 浅利 靖

14：20～14：45  
「放射性物質による環境への影響とその対策」  
被ばく医療総合研究所 教授 吉田 光明

14：45～15：10  
「放射線科学研究による東日本大震災復興への貢献」  
大学院保健学研究科 教授 柏倉 幾郎

（15：10～15：25 休憩）

<第2部>新エネルギー・環境研究への取組

15：25～15：45  
「東日本大震災を踏まえた長期的地震防災力向上プロジェクト」  
大学院理工学研究科 教授 有賀 義明

15：45～16：05  
「地域エネルギーセキュリティ確保に向けたバイオマス燃料電池システムの開発」  
北日本新エネルギー研究所 教授 阿布里提



16:05～16:25 「世界自然遺産白神山地の学術的活用の試み」  
白神自然環境研究所長 佐々木 長市

16:25～16:30 閉会挨拶 加藤 陽治（研究・産学連携担当理事・副学長）

【お申し込み・お問い合わせ先】

<申込方法>

○下記アドレスより申込用紙をダウンロードの上、FAXまたはメールにてお申込みください。

<http://www.rprc.hirosaki-u.ac.jp/sympo/231126/index.html>

弘前大学学術情報部研究推進課

電話：0172-39-3909

FAX：0172-39-3919

E-mail：[sympo@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:sympo@cc.hirosaki-u.ac.jp)

## 学 内 掲 示 板

### 弘前大学出版会から新刊のご案内

弘前大学白神研究会 編「白神研究第8号」（A4版、69頁、定価980円：税込）を出版しました。

本号の特集は弘前大学白神自然環境研究所教育研究棟で利用できる設備・装置およびその利用方法について紹介しており、白神山地の研究拠点としてご利用・ご活用頂きたい。連載「白神研究会の観測会ルート」は十二湖である。

ここはアクセスもよく観光コースにもなっていて、多くの人が訪れるため、場所によっては混雑するが、少し外れると静寂で多彩な自然を満喫できる。

池塘を中心に特徴的な植物や地形をはじめとして冬期の状況なども解説している。研究報告は植物が中心に6編を掲載した。特に白神を代表する、ブナの紅葉に関するメカニズム、シラネアオイの種子繁殖における特性や生活史、など興味がある方も多いのではないだろうか。また昆虫調査として白神山地ではこれまでほとんど手がつけられていないガガンボの報告も掲載している。



ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求め下さい。

### 弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上、ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

**問い合わせ先：** 弘前大学出版会（附属図書館内）  
電話：0172-39-3168  
FAX：0172-39-3171  
E-mail：[hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp)

## 国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

[http://www.janu.jp/active/7janu\\_quarterty\\_report.html](http://www.janu.jp/active/7janu_quarterty_report.html)

最新号の第22号において、本学の「グラスハープ・アンサンブル」の記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から) 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日(毎月1日と16日の2回)の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当: 総務部総務課広報・支援グループ

E-mail: [jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp)、Fax: 37-6594、内線: 3012